

## 東武動物公園が台湾 六福村テーマパークと 友好交流協定を締結

～遊園地・動物園がひとつとなったテーマパーク同士の交流により共に発展を目指します～

東武鉄道株式会社  
東武レジャー企画株式会社  
六福村テーマパーク

東武鉄道（本社：東京都墨田区、社長：都筑豊）のグループ会社である東武動物公園（東武レジャー企画株、本社：埼玉県宮代町、社長：石附栄一）と台湾の六福村テーマパーク（六福旅游集団、本社：台湾台北市、総経理：葉忠岳）は、2024年10月30日（水）に友好交流協定を締結しました。

東武動物公園では、2020年に姉妹動物園提携を結んでいる新竹動物園からの紹介を受け、六福村テーマパークと種の保存を目的としたミナミシロサイの搬入を計画し、東武鉄道台北事務所とも連携のうえ、2021年に同種のメス（エマ）が入園しました。それを契機とし、両園での相互PRや視察、六福村テーマパークにおけるワークショップへの獣医師の派遣等、交流を深めております。また、東武グループでは『中期経営計画2024～2027』の中で重点戦略である「成長をけん引する事業の確立」として、インバウンド中心の「観光事業」を中核事業に置いており、本協定により日台相互の送誘客が期待できるとして、今般協定を締結する運びとなりました。

東武グループでは、東京スカイツリーと台北101の友好関係締結を始めとし、東武ワールドスクウェアが台北101を展示物として設置、東武鉄道が台湾鉄道と友好鉄道協定を締結したほか、台北メトロとは誘客に繋げる相互PRを開始するなど、台湾との観光友好関係を築いております。このたびの友好交流協定の締結により、遊園地・動物園がひとつとなったテーマパーク同士の交流を図り、様々な取り組みを通じて、両園の発展を目指すとともに、日本と台湾の交流人口増加に寄与してまいります。

なお、双方の連携による取り組み等については、今後、検討してまいります。



△左：六福村テーマパーク 総経理 葉忠岳、右：東武レジャー企画(株)取締役社長 石附栄一  
[撮影：2024年10月30日 六福村テーマパーク]

## 台湾 六福村テーマパークとの友好協定締結について

### 1 締結内容

双方の協力関係を構築し、動物飼育、保護、パークのマーケティング、及び教育活動などに関する経験の学習、交流および協力を促進することを目的とし、双方の国際的な視野と発展を促進すべく協定を締結する。

### 2 締 結 日

2024年10月30日（水）

### 3 関連施策

- (1) 台北国際旅行博覧会（ITF）における締結記念キャンペーン  
※東武グループ及び六福村グループ双方がブース出展
- (2) プロモーションの相互協力
- (3) 動物飼育、保護や教育活動などに関する経験の学習、交流および協力他

以 上

<参 考>

#### 〔六福村テーマパークについて〕

台湾新竹市にある国内唯一のサファリパークに遊園地・プールからなる、敷地面積約75haの総合テーマパーク。施設内は4つのテーマビレッジを有し、季節ごとに様々なセレモニーイベントを実施するほか、サファリパークでは絶滅危惧種動物の保全啓発活動やシロサイの観察ツアーなども行っている。

#### 〔ミナミシロサイ「エマ」について〕

動物種：ミナミシロサイ

名 前：エマ

性 別：メス

生年月日：2015年12月18日

搬入日：2021年6月8日

展示場所：東武動物公園内

アフリカサバンナ シロサイ展示場



#### 〔東武鉄道台北事務所について〕

2016年10月に開設以降、現地拠点として、現地メディアに向けた情報発信や旅行博覧会への出展など、台湾のお客様に対しダイレクトに当社沿線やグループ施設の魅力を発信している。さらに現地企業との連携により、自社グループのみならず、日本と台湾の相互送客に取り組み、より一層の観光交流の活性化を図っている。

#### 〔東武グループの主な取組み〕

2013年5月 東京スカイツリー・台北101が友好関係締結

2015年10月 東武ワールドスクウェア ミニチュア 台北101設置

2015年12月 東武鉄道・台湾鐵路管理局が友好鉄道協定締結

2024年9月 東武鉄道・台北メトロ 観光旅行事業協力覚書締結

以 上